

久賀高等学校同窓会広島支部
会員各位

平成22年12月吉日
広島支部
会長 石田元教

平成23年度 総会並びに懇親会について（ご報告とお願い）

拝啓 師走を迎え、厳しい寒さとともにお忙しい毎日をお過ごしのことと拝察いたします。
平素は同窓会活動に格別なご協力をいただき大変ありがとうございます。

さて、去る11月23日、本部より小原勇会長（8回卒）、山村顧問（9回卒）、周防大島高校より光田伸幸校長、そして県外からの出席者を含め総勢25名の参加を得て、昨年と同様「ピアローゼン」にて平成23年度の総会並びに懇親会を和やかに開催しました。

総会では、私より次の2点を報告させていただきました。

まず1点は去る3月に元支部会長の中村福太郎さんが亡くなられたことです。ご存知の方もおられると思いますが、中村さんは昭和38年に母校野球部が初めて甲子園出場を果たした時、広島在住の同窓生で応援団を組織し甲子園に乗り込みました。これが広島支部の事実上の発足となるわけですが、中村さんはその後も永きに亘り支部会長として支部のみならず本部同窓会の発展に大きく貢献されてきました。その支部も再来年には設立50周年を迎えます。中村さんの熱い思いを受け継ぎ、広島支部を益々発展させていきたいとお誓いしたところです。

2点目は新会員発掘に関するものです。昨年の総会での承認を経て広島在住の若手を中心とした会員200名余に支部活動への参加を呼びかけましたが、残念ながら結果は芳しいのとはなりません。支部役員一同、活動の活性化に向け一段と努力する所存ですが、皆さんもお知り合いの同窓生にぜひ同窓会参加へのお声かけをお願いします。

続いての懇親会では、まず小原会長より故中村元会長の同窓会発展への貢献に心よりの感謝とご冥福を祈る旨が表された後、

- ・ 広島支部の活動にいつも心の温もりを感じている。これは諸先輩が営々と築かれた伝統だが、ぜひ継承して行って欲しい。支部の発展が本部の諸活動の支えになっている。久賀高同窓会は他校に比べ規模は小さいが、心のつながりでは日本一だと思っている。このことを誇りに同窓会発展に今後ともご協力をいただきたい。
- ・ 福祉科の久賀校舎での存続についてはまだやっているのかという指摘はあるが、地元の熱い想いで設立された経緯、また同窓会が取り組まなければ火は消えてしまうこと等を考えればやらなければ汚点を残すことになるし、同窓会の責任を全うしたことにならない。従って、同封の資料をぜひ読んでいただき、ご理解とご協力をいただきたい。
- ・ 前身の女学校は同窓会の生みの親である。そこで、感謝の意を表し、且つ過ごした青春の